



株式会社Move
<https://movetech.co.jp/>
〒101-0042
東京都千代田区神田東松下町25
アルファランデ千桜タワー201

SSE搭載液晶ディスプレイ端末

Belfida ONE

L-1001JA ユーザーマニュアル

はじめに

この度は、Belfida ONE (L-1001JA)をお買い上げいただき、ありがとうございます。
このマニュアルは、商品の正しい使い方や使用上の注意について記載しています。ご使用前に、このマニュアルを最後までお読みの上、安全に正しくお使いください。

注意事項

- 本マニュアルの本文中においては、Belfida ONE (L-1001JA) (以下、「本デバイス」といいます)の機能と操作を紹介します。
- 本マニュアルには、製品を安全にお使いいただくためのさまざまな注意事項が示されています。これらの注意事項を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 本マニュアルの内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本マニュアルで掲載しているイラストや画面はイメージで、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、操作方法が複数ある機能や設定の操作は、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本マニュアルに従わない方法で本デバイスを操作したことにより生じた損害については、当社は責任を負いません。
- 本デバイスのデザインやソフトウェアは、書面による予告なしに変更されることがあります。そのため、実際の製品とマニュアルとの間に差異が生じる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている商標、登録商標、会社名は、それぞれの所有者に帰属します。
- 本マニュアルの内容に、ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がありましたら、簡易マニュアルに記載している連絡先へご連絡ください。
- 本デバイスは厳格な品質管理と検査を経て出荷されていますが、万が一故障または不具合が生じた場合は、「保証とアフターサービス」に記載している「お問い合わせ先」にご連絡ください。
- 当社は、法律による責任が認められない限り、お客様または第三者の製品の誤使用によって生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害に対して責任を負いません。
- 本デバイスを廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- 本デバイス(付属品含む)は、予告なく改良される場合があります。

図記号の意味 (図記号の一例です。)

図記号	意味
	気をつける必要があることを表しています。
	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。

安全上の注意

本章では、本デバイスの適切な取扱い、受傷事故の予防、物損の防止に関する内容を紹介します。本デバイスのご使用前によく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

保管条件



- 本デバイスは、湿気やほこりの多い場所、湯気や油煙の当たる場所を避けて保管してください。
- 本デバイスを高温になる場所や熱のこもりやすい場所で保管しないでください。
- 適正な温度(-20℃~60℃)の条件下で本デバイスを保管してください。
- 急激な温度変化は結露の原因となり本デバイスの内部に水滴が付着することがありますので、寒い屋外から急に暖かい屋内に持ち込んで使用したり、湿度の高い場所で保管したりしないでください。
- バッテリー残量が0%の状態ですら長期保管すると、バッテリー性能が劣化して故障の原因になります。

使用条件



- 本デバイスは、日本の無線周波数と安全規格、電波法に基づく技術基準に適合して製造されています。日本以外の国での使用を保証するものではありません。
- 本デバイスを直射日光の当たる場所や高温になる場所、熱のこもりやすい場所、火気の近く、水の中、水などのかかる場所、湿気が多い場所などで使用しないでください。
- 急激な温度変化は結露の原因となり本デバイスの内部に水滴が付着することがありますので、寒い屋外から急に暖かい屋内に持ち込んで使用したり、湿度の高い場所で使用したり放置はしないでください。
- 本デバイスを落としたり、衝撃を与えたり、強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。バッテリーの破損により、火災ややけど、怪我などの原因になります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理機、圧力釜などの圧力調整できる容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
- 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

メンテナンス条件



- メンテナンスを行う前に本デバイスの電源を切ってください。また、本デバイスのクリーニングの際は、ベンジン・シンナー・液体クリーナー・スプレークリーナーは使用しないでください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ディ스플레이の表面をクリーニングするときは、清潔で柔らかい布を使用してください。ディスプレイのクリーニングには、ぬれた布を使用しないでください。画面が損傷するおそれがあります。

規制などに関する情報



- ワイヤレス通信機能を搭載した本デバイスは、日本の無線周波数と安全規格に適合しています。
- 本デバイスは、電波法に基づく技術基準に適合しています。

安全にお使いいただくために

**警告**

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

-  適正な温度(0℃~40℃)の条件下で本デバイスを使用してください。
-  湿気やほこりの多い場所、湯気や油煙の当たる場所で使用しないでください。また、腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境でも使用しないでください。火災の原因となります。
-  本デバイスを傷つけたり、無理に曲げたり、加熱したり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。また、重いものをのせないでください。火災や感電の原因となります。
-  本デバイスへの電力供給および充電は、付属の電源アダプターおよび電源ケーブルを使用してください。
-  雷が鳴り始めたら、本デバイスの電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
-  発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、すぐに本デバイスの電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて使用をやめてください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。
-  本デバイスが変形、破損した場合は、本デバイスの電源を切り、使用をやめてください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。
-  本デバイス内部に水や異物が入った場合は、本デバイスの電源を切り、使用をやめてください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。
-  本デバイスの中にクリップやピンなどの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
-  本デバイスの裏蓋を外さないでください。また、分解や改造はしないでください。内部には電圧の高い部分があり、触ると感電する可能性があります。



ぬれた手で充電をしないでください。感電の原因となります。



本デバイスおよび付属品は防水機能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所での使用や、雨などにかかることは避けてください。
また、本デバイスの上や近くに花瓶などの水が入った容器を置いたり、エアコンなど水を排出する機器の近くに設置したりしないでください。火災や感電の原因となります。
調査の結果、これらの水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となり無償交換に応じられない場合がありますので、ご了承ください。



本デバイスは、航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



一般ゴミと一緒に捨てないでください。環境破壊の原因となります。不要となった本デバイスと付属品は、各自治体の指示に従って適正に処分してください。



注意

誤った取扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を与え
る可能性があることを示しています。

-  電源アダプターはコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用してください。
-  電源アダプターは、タコ足配線で使用しないでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となります。
-  電源アダプターは、コンセントの根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着したりして火災の原因となります。
-  火災や感電を防ぐために、次のことに注意してください。
 - 電源アダプターを抜くときは、必ず電源アダプターを持って抜いてください。
 - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
 - 電源アダプターや電源ケーブルが熱いときは使用を中止してください。
-  直射日光の当たる場所や暖房器具など、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因となります。
-  不安定な台や場所に置かないでください。強い衝撃や振動を与えないようにしてください。落下したり、転倒したりしてけがの原因となります。
-  本デバイスの上に物を置いたり、乗ったりしないでください。破損の原因となります。
-  画面を強く押ししたり、衝撃を与えたりしないでください。画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となります。
-  画面にゴム、ビニール製品などを長時間接触させないでください。表面にダメージを与える原因となります。

-  先のとがった物や硬い物で画面を押ししたり、こすったり、叩いたりしないでください。破損や故障、けがの原因となります。
- 
 - バッテリーからバッテリー液がこぼれた場合、漏出、破裂、加熱、誤飲による重症や失明を防ぐため、直接皮膚に触れないようにしてください。
 - 液が目に入った時は失明のおそれがありますので、目を擦らないようにしてください。直ちに水道水などの清潔な水で十分に洗い流し、医師の診察を受けてください。
 - 液が皮膚や衣服についた時も、やけどやけがの原因になることがありますので直ちにきれいな水で洗い流し、皮膚の炎症やけがの症状がある場合は医師に相談してください。
 - 長期間保管される場合は、過放電を防ぐため、半年に一度の充電を推奨します。
 - お客様ご自身でバッテリーを取り外さないでください。購入された販売店にご相談ください。
-  本デバイスの温度が高くなる部分に長時間触れないでください。低温やけどの原因となります。

はじめに	I
安全上の注意	III

01 概要	1
1.1 はじめに	1
1.2 同梱品リスト	2
1.3 外観	2
1.4 寸法	3
1.5 3wayマグネットスタンド(別売)	3

02 充電と起動	4
2.1 充電操作	4
2.2 電源操作	6
2.2.1 起動	6
2.2.2 終了	7
2.2.3 スリープ	7

03 基本操作	8
3.1 接続方法	8
3.1.1 接続完了時の画面	9
3.2 タッチバック操作	10
3.3 レイアウト操作	10
3.3.1 タッチパネル操作	10
3.3.2 表示画面サイズ変更と子画面表示操作	11
3.3.3 レイアウトバーでのレイアウト操作	12
3.3.4 ウィジェットでのレイアウト操作	14
3.3.5 その他の操作	17

04 各種設定	18
4.1 機器情報	18
4.1.1 端末名	18
4.1.2 使用言語	18
4.1.3 製造管理番号	18
4.1.4 MACアドレス	18
4.1.5 ソフトウェアバージョン	18
4.2 通信設定	19
4.2.1 Bluetooth	19
4.2.2 デバイスリスト	19
4.3 画面設定	19
4.3.1 画面固定	19
4.3.2 テーマカラー設定	19
4.4 入出力設定	19
4.4.1 タッチ軌跡表示	19
4.4.2 音量設定	19
4.5 システム設定	20
4.5.1 システムリセット	20
4.5.2 システム更新	20

05 故障かな?と思ったら	21
----------------------	----

06 その他	
6.1 保証とアフターサービス	23
6.2 主な仕様	24
6.3 商標について	24

01

概要

Belfida ONEは、SSE(Smart Streaming Engine)技術を搭載し、Android OS対応スマートフォン(以下、「Androidスマホ」といいます)、Windowsパソコン(以下、Androidスマホ、Windowsパソコンを「接続デバイス」といいます)の画面を視聴・操作できるデバイスです。AndroidスマホやWindowsパソコンの新しい使い方を提案する無線接続ミラーリングデバイスです。

1.1 はじめに

以下の機能・特徴に対応しています。

- タッチパネル付き10.36インチ液晶ディスプレイ採用
超軽量薄型デバイス
- Androidスマホ、Windowsパソコンの画面を無線でミラーリングする機能
- Androidスマホ、Windowsパソコンを同時に2台までミラーリング視聴・操作できる機能
- 動画配信映像コンテンツを楽しむためのHDCP対応(Miracast対応機種のみ)
- 転送されたAndroidスマホ画面を独自の操作で視聴スタイルを変更できる機能
- 手持ち操作を邪魔しない、取り外し可能マグネットスタンド採用(別売)

⚠ 注意事項

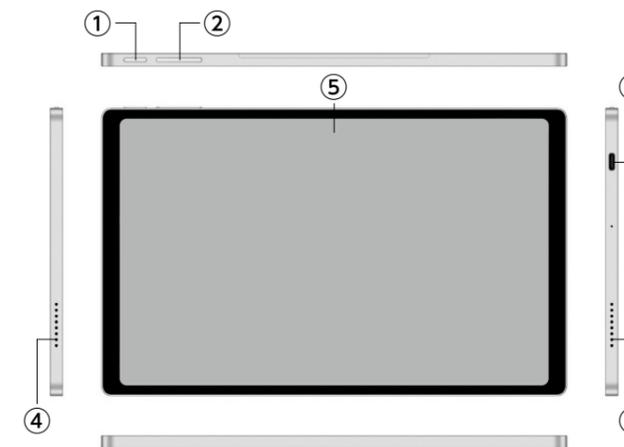
- 本マニュアルの内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本マニュアルの操作説明は、初期状態からの操作で説明しています。
- 本マニュアルで掲載しているイラストや画面はイメージであり、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、操作方法が複数ある機能や設定の操作は、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- ミラーリングはMiracastに対応しています。Google Cast、AirPlayには対応していません。
- 無線ネットワーク環境やその他無線機器が接続や画質品質などに影響を与えることがあります。
- 著作権付きの映像・音声情報を保護するための暗号化技術HDCP2.3に対応しています(Miracast対応機種のみ)。未対応なデジタルコンテンツは視聴できません。

1.2 同梱品リスト

開梱前に梱包箱に明らかな損傷がないかを確認してください。開梱したらまず、部品が同梱品リスト通りに揃っているかを確認してください。

- 本デバイス
- 電源アダプターと電源ケーブル
- 簡易マニュアル

1.3 外観



①電源ボタン

電源を入れる／切るときや、画面を消灯／点灯する時に使用します。

②音量ボタン

音量の調整や音量バー表示に使用します。

③電源端子

充電時に使用します。

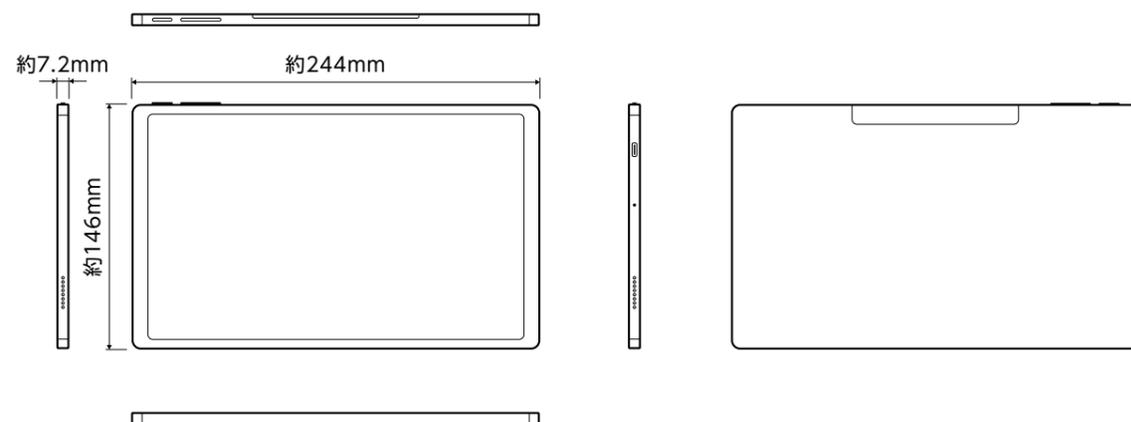
④スピーカー

⑤ディスプレイ(タッチパネル)

⚠ 注意事項

- 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- バッテリーは本デバイスに内蔵され、取り外せません。

1.4 寸法



1.5 3wayマグネットスタンド(別売)

別売の3wayマグネットスタンドに本デバイスを立てて使用できます。
平らな場所に設置して利用してください。

- 3wayマグネットスタンドを液晶画面の裏側のロゴに近づけるとマグネットで固定されます。
- 縦使用でも横使用でも使用することができます。
- 5段階の長さ調整ができます。
- 取り外すときは、マグネットスタンドのスタンド部を持って引っ張ります。



⚠ 注意事項

- 3wayマグネットスタンドは強力な磁石を使用していますので、スタンドを取り付ける時に、画面の裏側とスタンド(マグネット)の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になります。

02

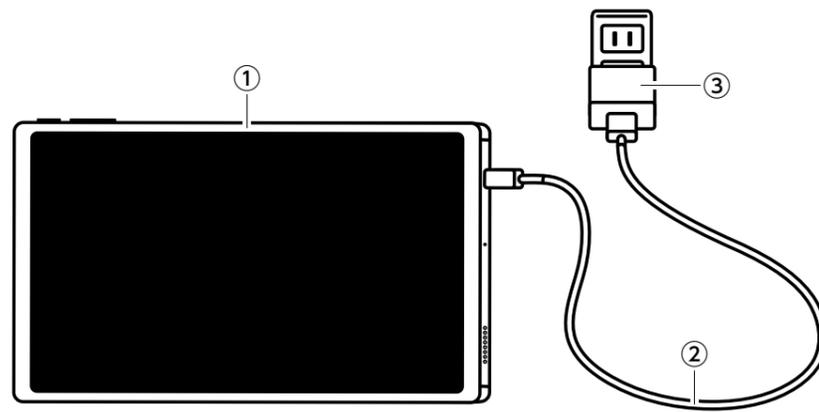
充電と起動

お買い上げ時の内蔵バッテリーは十分に充電された状態ではありません。

2.1 充電操作

- 充電には本デバイス付属の電源アダプター(DC 5V 3A)と電源ケーブルをご使用ください。付属の電源アダプターと電源ケーブル以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合、故障の原因になります。付属品は防水/防塵性能を有していません。
- 付属の電源アダプター、電源ケーブルを本デバイス以外の機器に使用する場合、充電ができない場合がありますので、使用しないでください。
- 充電は、適正な周囲温度(0℃~40℃)の場所で行ってください。
- 充電時は、本デバイスがぬれていないか確認してください。本デバイスがぬれている状態では、絶対に充電しないでください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、電源アダプターが熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 電源オフの状態でも充電を開始すると、操作はできませんが本デバイスの電源はオンになります。このため、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
- バッテリー残量は、画面上のウィジェットで確認できます。
- 内蔵バッテリーの使用時間は、使用環境や内蔵バッテリーの状態により異なります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。充電・放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が短くなっていきます。
- 充電しながら使用すると、内蔵バッテリーの寿命が短くなることがあります。

付属品を使って 充電する



①本デバイス ②電源ケーブル ③電源アダプター

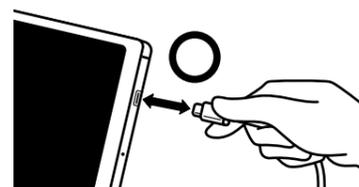
- 1 電源アダプターに付属の電源ケーブルのプラグを繋ぎます。
- 2 電源ケーブルのもうひとつのプラグを本デバイスの電源端子に差し込みます。
- 3 電源アダプターをコンセントに差し込みます。
- 4 充電が完了したら、電源ケーブルを本デバイス、コンセントから抜きます。

⚠ 注意事項

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- 電源ケーブルはプラグを持ち、真っすぐに接続してください。正しく接続しないとケーブル内部に損傷を与えて、充電できなくなることがあります。

正しい例

- ・ プラグを持ち、真っすぐに挿入または取り外します。



間違った例

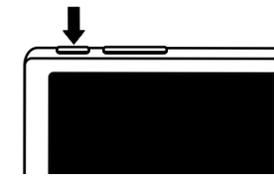
- ・ 上下左右、前方または斜めでの挿入または取り外し。
- ・ 無理な力での抜き差し。
- ・ 電源ケーブルのケーブル部分を持つでの抜き差し。



2.2 電源操作

2.2.1 起動

電源ボタンを長押しします。
(3秒程度)



2.2.1.1 初めて電源を入れるとき

1 本デバイスが駆動し、起動中画面を経て言語選択画面が表示されます。

日本語(デフォルト)もしくは英語かを選択します。
※「設定」から後ほど変更することができます。



2 「OK」で確定をすると端末名設定が表示されます。
任意の端末名に変更する場合は、端末名をタップするとソフトウェアキーボードが表示され、それを用いて入力します。使用できる文字は、半角英数字(大文字・小文字)、記号で、文字数は4~30文字です。
端末名を変更しない場合は、何もせずに次に進みます。

※「設定」から後ほど変更することができます。



3 「OK」で確定をすると接続待機中画面表示になります。



2.2.1.2 2回目以降に電源を入れるとき

1 本デバイスが駆動し、起動中画面を経て接続待機中画面が表示されます。

2.2.2 終了

電源ボタンを長押しします。
(3秒程度)
メッセージが表示されます。

2.2.3 スリープ

電源ボタンを押します。
接続待機中画面または接続状態で、画面がスリープします。
スリープ中に電源ボタンを押すと画面がONします。
一定時間でスリープは解除され、終了状態になります。

03

基本操作 Androidスマホアプリ経由

本章では、本デバイスの基本操作を説明します。
接続後の画面操作は、Androidスマホを本デバイスのディスプレイから操作する「タッチバック操作」と、Androidスマホには影響を与えない本デバイスで操作する「レイアウト操作」の2つがあります。
以下、接続デバイスを1台接続した場合を「1接続時」、2台接続した場合を「2接続時」といいます。

3.1 接続方法

本デバイスとAndroidスマホをミラーリングする方法と操作方法を説明します。

AndroidスマホにMiracast機能の搭載の有無、Miracast機能の名称はメーカーにより異なりますので、接続するAndroidスマホの取扱説明書またはメーカーに確認をしてください。

接続手順

- 1 Google PlayからAndroidスマホにアプリ(SSE-Bridge)を入手しておきます。
アプリはGoogle Playの検索またはAndroidスマホのカメラを使って接続待機中画面のQRコードを読み取ることでアプリへの誘導をします。
- 2 本デバイスに電源を入れ、接続待機中画面にします。
- 3 AndroidスマホでSSE-Bridgeを起動します。
- 4 SSE-Bridgeのカメラ機能で接続待機中画面または設定画面にあるQRコードを読み込みます。



接続待機中画面

アプリを起動して本デバイスに接続して、ポップアップ表示を設定します。(「許可しない」を選択するとアプリは使用できません。)

Miracastを開始するタイミングのポップアップ表示の「タッチバック機能」を有効に(「はい」を選択)することで、設定項からユーザー補助機能に進みます。SSE-Bridgeを選択し、「SSE-Bridgeの使用」をONにします。ポップアップ表示を許可するとタッチバックが使えるようになります。
Androidスマホが自動で本デバイスを探検し、接続を行います。

01
概要

02
充電と起動

03
基本操作

04
各種設定

05
故障かな？と
思ったら

06
その他

⚠ 注意事項

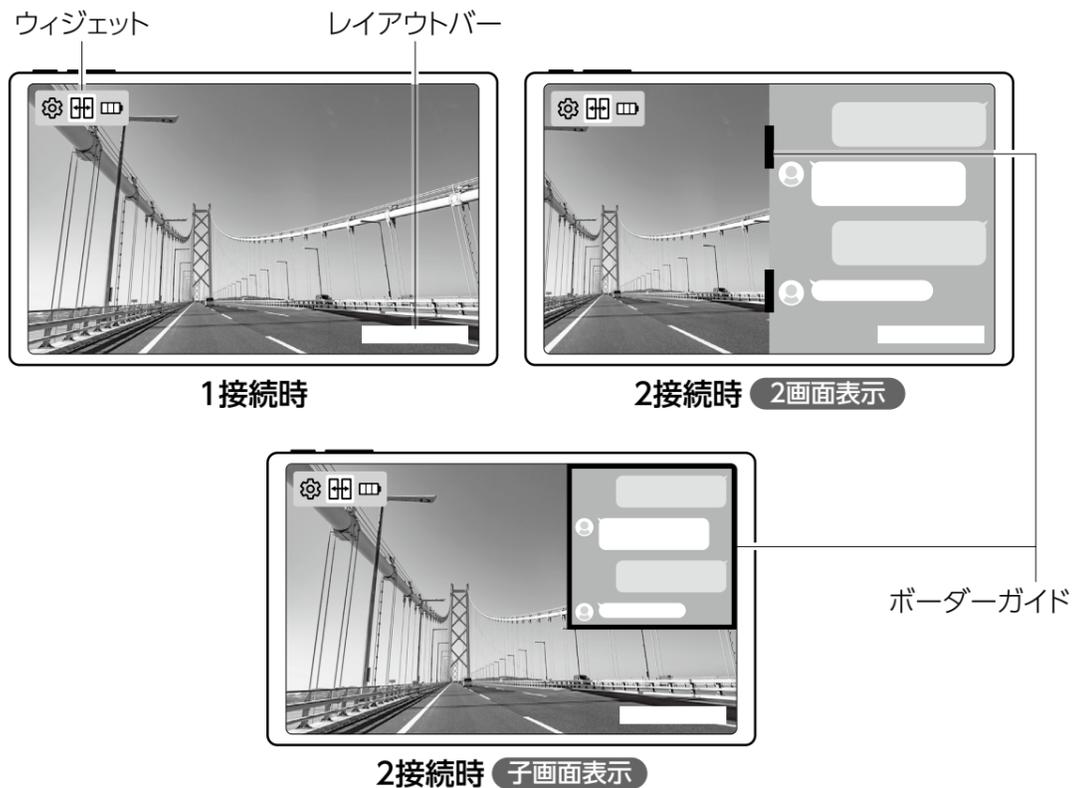
<SSE-Bridgeの選択ができない、タッチバックが使えない場合>
設定からアプリを選択し、SSE-Bridgeと進み、画面の右上の縦三点リーダーをクリックして「制限付き設定を許可」を許可します。設定項からユーザー補助機能に進みます。SSE-Bridgeを選択し、「SSE-Bridgeの使用」をONにします。この設定に対応することでタッチバックが使えるようになります。
SSE-Bridgeのカメラ機能で接続待機中画面のQRコードを読み込みます。Androidスマホが自動で本デバイスを探検し、接続を行います。ただし、設定項目の名称などがスマホメーカーで異なっている場合がありますので、ご不明な点はAndroidスマホの取扱説明書またはメーカーに確認をしてください。

2台目の接続はミラーリング画面でも行えます。

- 接続処理中は、レイアウトバー(後述)がフラッシングします。

3.1.1 接続完了時の画面

Androidスマホとの接続が完了すると、タッチバック画面に加えてウィジェット、レイアウトバーが表示されます。2接続時はボーダーガイドも表示されます。



3.2 タッチバック操作

接続しているAndroidスマホの操作を本デバイスのタッチパネルで行います。

Androidスマホの操作は取扱説明書などで確認してください。

⚠ 注意事項

- 著作権付きの映像・音声情報を保護するための暗号化技術HDCP2.3に対応していませんので、デジタルコンテンツは視聴できません

3.3 レイアウト操作

接続デバイスに影響を与えない本デバイス専用の操作を説明します。レイアウト操作にはウィジェットの中のレイアウトアイコンまたはレイアウトバーで切り替えることができます。

3.3.1 タッチパネル操作

タッチパネルの使い方について説明をします。

⚠ 注意事項

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 異物をディスプレイにのせたままでの操作、タッチパネルがぬれた状態での操作などでは動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

1. タップ

指1本で画面に軽く触れ、すぐに離します。

2. マルチタップ

指2本で画面に軽く触れ、すぐに離します。

3. マルチロングタップ

指2本で画面を長押しします。

4. ダブルタップ

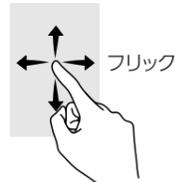
指1本で画面を素早く2回タップします。

5. マルチスワイプ

指2本で画面に軽く触れたまま、上下または左右に動かします。

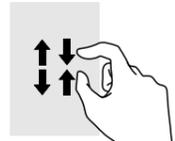
6. フリック

指1本で画面の表面を素早く払うように、上下または左右に動かします。



7. ピンチアウト

指2本で画面に触れて、指の間隔を開きます。



8. ピンチイン

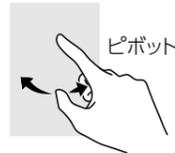
指2本で画面に触れて、指の間隔を閉じます。

ピンチアウト・ピンチイン

9. ピボット

画面に指1本を動かさないで置きます。

別の指を先の指の右上に置き、最初の指の周りで円状に時計回りまたは反時計回りに動かします。



3.3.2 表示画面 サイズ変更と 子画面表示操作

2画面表示の時にボーダーガイドを左右にドラッグするとその動きに合わせて表示画面のサイズを変更することができます。

子画面表示の時にボーダーガイドの角を斜めにドラッグすると子画面のサイズを変更することができます。

子画面表示時に、枠外にフリックすると、子画面に表示されている表示画面が非表示になります。

子画面表示時にタップすると画面の入れ替えをします。

子画面をフリックすると、フリックした方向の四隅に移動します。

3.3.3 レイアウトバー での レイアウト操作

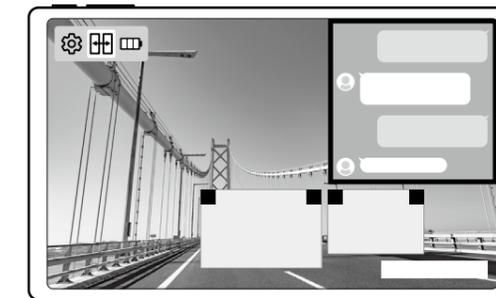
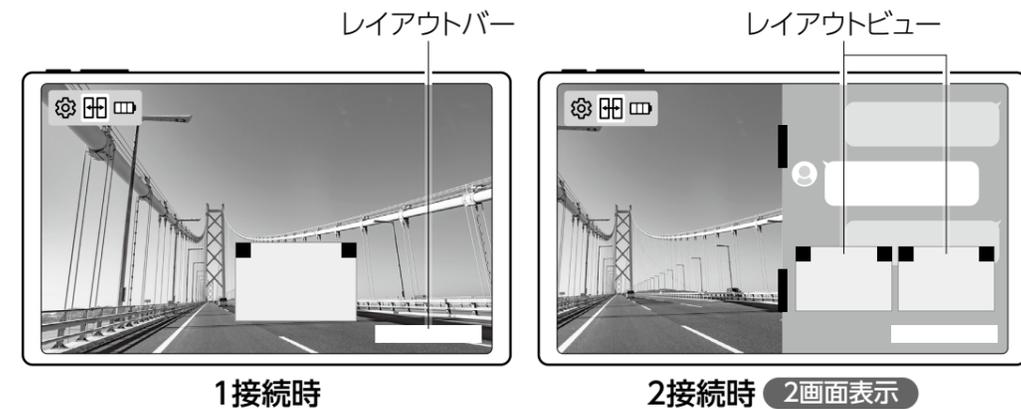
タッチバック操作からレイアウト操作を視覚的に実行することができます。

3.3.3.1 レイアウトバー、レイアウトビューの説明

レイアウトバーをタップまたはフリックすると、レイアウトビューが表示されます。

操作を一定時間(10秒程度)行わなかった場合はレイアウトビューが非表示になります。

レイアウトビューには接続している接続デバイスの画面が表示されます。



3.3.3.2 1接続時のレイアウトビューによるレイアウト操作

1接続時にレイアウトビューで次の操作が行えます。

1. 拡大・縮小

レイアウトビューをダブルタップする度に、接続サイズ、フィットサイズ、ズームサイズに変更します。

ズームサイズはフィットサイズの1.5倍のサイズです。

フィットサイズ、ズームサイズの時は、マルチスワイプすると表示エリアの移動ができます。



接続サイズ

フィットサイズ

ズームサイズ

2. 回転

レイアウトビューの上の角をタップすることで、選んだ方向に90°回転します。

3. 接続の切断

レイアウトビューを下外枠までフリックすると切断メッセージが表示され、「OK」で確定すると該当する接続デバイスを切断します。

接続デバイス側で切断処理が行われた場合、切断メッセージを5秒間程度表示し切断します。

3.3.3.3 2接続時のレイアウトビューによるレイアウト操作

2接続時にレイアウトビューが表示されている時に次の操作が行えます。

1. 2画面表示

2画面表示の時にレイアウトビューのどちらかの画面をタップすると、タップした画面が1画面表示になります。

1画面表示で非表示のレイアウトビューをタッチすると画面が入替わります。

1画面表示の時に、レイアウトビューを同時にタップすると2画面表示になります。

2画面表示の時に、レイアウトビュー内をフリックまたはレイアウトビューを左右移動すると、表示画面の表示位置の入替をします。

2. 子画面表示

2画面表示時の時、子画面にしたいレイアウトビューを上フリックすると子画面表示になります。

子画面表示の時に、子画面表示のレイアウトビューをタップすると、1画面表示になります。

1画面表示の時、非表示になっているレイアウトビューを上フリックすると非表示の画面が子画面表示します。

子画面表示の時に、レイアウトビューを2つ同時にタップすると2画面表示になります。

子画面表示をフリックするとフリックした方向の四隅に移動します。

3. 拡大・縮小

レイアウトビューのダブルタップする度に、接続サイズ、フィットサイズ、ズームサイズを自動で変更します。

ズームサイズはフィットサイズの1.5倍のサイズです。

フィットサイズ、ズームサイズの時は、マルチスワイプすると表示エリアの移動ができます。

4. 回転

レイアウトビューの上の角をタップすることで、選んだ方向に90°回転します。

5. 接続の切断

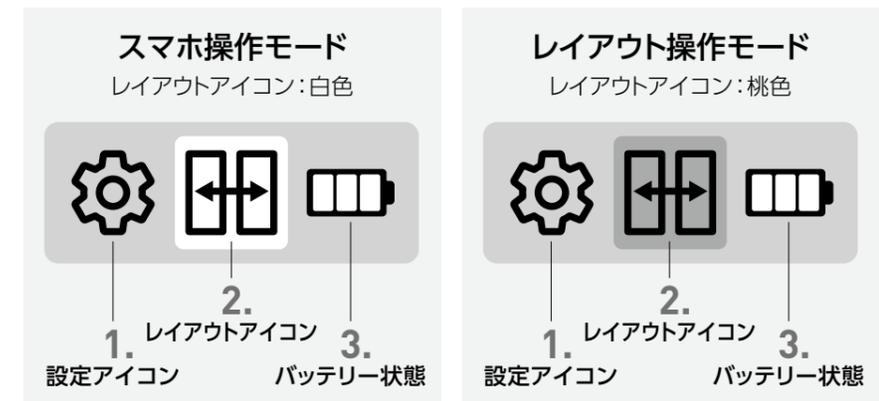
レイアウトビューを下外枠までフリックすると切断メッセージが表示され、「OK」で確定すると該当する接続デバイスを切断します。

接続デバイス側で切断処理が行われた場合、切断メッセージを5秒間程度表示し切断します。

3.3.4 ウィジェットでのレイアウト操作

ウィジェットとは設定アイコンやレイアウトアイコン、バッテリー状態を表示するバーです。

3.3.4.1 ウィジェットの説明



1. 設定アイコン

ダブルタップ操作により、設定ダイアログへ移行します。

2. レイアウトアイコン

タッチ操作で桃色になると、レイアウト操作ができます。

操作を一定時間(10秒程度)行わなかった場合はスマホ操作モードに戻ります。

3. バッテリー状態

バッテリーの充電状態と残量を表示します。

ミラーリング時にバッテリー状態をタップすると音量バーを表示します。

バッテリー状態	表示状態
70%~100%残量	白・3バー表示
30%~70%残量	白・2バー表示
30%以下残量	白・1バー表示
5%以下残量	赤・点滅表示
3%以下残量	赤・高速点滅表示
充電中	緑・充電中表示

3.3.4.2 ウィジェットの移動

ウィジェットをフリックすると、フリックした方向の四隅に移動します。

3.3.4.3 レイアウトアイコンの説明

レイアウトアイコンをタップすると桃色になり、画面を桃色のレイアウトフレームで囲みます。その間はレイアウト操作ができます。(桃色は設定画面で他のカラーに変更することができます。)

何も操作が行われない場合は一定時間が経過すると桃色は消え、レイアウト操作ができなくなります。



3.3.4.4 1接続時のレイアウト画面によるレイアウト操作

接続デバイスが1台でレイアウトアイコンが桃色の時に次の操作が行えます。

1. 拡大・縮小

表示画面はダブルタップする度に、接続サイズ、フィットサイズ、ズームサイズを自動で変更します。

ズームサイズはフィットサイズの1.5倍のサイズです。

表示画面を任意のサイズにする場合は、ピンチインまたはピンチアウト操作をします。

フィットサイズ、ズームサイズの時は、マルチスワイプすると表示エリアの移動ができます。

2. 回転

表示画面の上でのピボット操作で、操作方向に90°回転します。

3. 接続の切断

表示画面内で下外枠までフリックすると切断メッセージが表示され、「OK」で確定すると該当する接続デバイスを切断します。

接続デバイス側で切断処理が行われた場合、切断メッセージを5秒間程度表示し切断します。

3.3.4.5 1接続時のレイアウト画面によるレイアウト操作

接続デバイスが2台でレイアウトアイコンが桃色の時に次の操作が行えます。

1. 2画面表示

2画面表示時に非表示にしたい画面をマルチタップすると1画面表示になります。

1画面表示でマルチタップすると非表示の画面が表示された2画面表示になります。

2画面表示の時に、表示画面内でレイアウトラインの境界を越えるまでフリックすると、表示画面の表示位置の入替をします。

2. 子画面表示

2画面表示の時にマルチロングタップすると、その画面が右上に子画面表示します。

子画面表示の時に、枠外にフリックすると、子画面表示されている表示画面が非表示になります。

子画面表示の時に、タップすると、画面の入替をします。

子画面表示の時にマルチタップすると、2画面表示に移動します。

子画面表示の時にフリックした方向の四隅に移動します。

3. 拡大・縮小

表示画面はダブルタップする度に、接続サイズ、フィットサイズ、ズームサイズを自動で変更します。

ズームサイズはフィットサイズの1.5倍のサイズです。

表示画面を任意のサイズにする場合は、ピンチインまたはピンチアウト操作をします。

子画面は拡大・縮小操作ができません。

フィットサイズ、ズームサイズの時は、マルチスワイプすると表示エリアの移動ができます。

4. 回転

表示画面の上でのピボット操作で、操作方向に90°回転します。

子画面は回転操作ができません。

5. 接続の切断

表示画面内で下外枠までフリックすると切断メッセージが表示され、「OK」で確定すると該当する接続デバイスを切断します。

接続デバイス側で切断処理が行われた場合、切断メッセージを5秒間程度表示し切断します。

3.3.5 その他の操作

本デバイスのその他の操作について説明します。

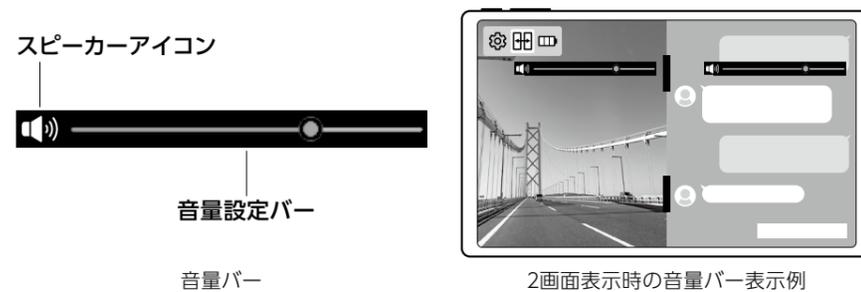
3.3.5.1 自動回転

本デバイスに内蔵されている加速度センサーにより、本デバイスの向きに合わせて画面が自動で回転します。



3.3.5.2 音量操作

- 音量ボタンを押すまたはウィジットのバッテリー状態をタッチすると、音量バーが表示されます。
- 一定時間操作しないと音量バーは非表示になります。
- 音量操作は、音量ボタンまたは画面上の音量設定バーで行います。
- 音量ボタンでミュートになっていない音量バーの操作ができます。
- 2接続時に片方の音量をミュートする場合は音量バーで操作します。
- スピーカーアイコンをタッチするとミュートの設定・解除ができます。



3.3.5.3 Bluetooth操作

本デバイスとBluetoothイヤホンやBluetoothスピーカー(以下Bluetoothデバイスと言います)との接続する方法を説明します。

- Bluetoothデバイスをペアリングモードにして、本デバイスに近づけます。
- 設定アイコンから通信設定、Bluetoothを選択します。検出されたデバイスから該当するBluetoothデバイスの接続をタップします。

3.3.5.4 タッチ軌跡操作

タッチ操作を一定感覚で軌跡として一定時間表示する方法を説明します。

- 設定アイコンから入出力設定、タッチ軌跡表示と進みます。
- ボタンをONにするとタッチ操作の軌跡を表示できます。

04

各種設定

本章では、本デバイスの機能の設定方法をご紹介します。
ウィジットの設定アイコンをタップすると設定ダイアログを表示します。
項目をタップするとそれぞれの機能ダイアログに移行します。
接続待機中画面に戻るには、右上の「×」マークをタップします。



設定ダイアログ

機能ダイアログ

4.1 機器情報

本デバイスの情報を変更や確認ができます。

4.1.1 端末名

端末名の変更ができます。
ソフトウェアキーボードが表示されるので、それを用いて入力します。
使用できる文字は、半角英数字(大文字・小文字)、記号で、文字数は4~30文字です。

4.1.2 使用言語

使用する言語を選択することができます。
日本語もしくは英語かを選択します。

4.1.3 製造管理番号

製造管理番号を確認することができます。

4.1.4 MACアドレス

MACアドレスを確認できます。

4.1.5 ソフトウェアバージョン

現在使用しているソフトウェアのバージョンを確認できます。

4.2 通信設定

Bluetooth、デバイスリストについて説明をします。

4.2.1 Bluetooth
検出されたBluetoothを表示します。

4.2.2 デバイスリスト
接続した接続デバイスの名称を表示します。

4.3 画面設定

表示画面の向き、表示色の設定ができます。

4.3.1 画面固定
加速度センサーによる画面回転ができる「自動」、現在の画面の向きで固定できる「固定」を選択できます。

4.3.2 テーマカラー設定
ウィジェット、レイアウトフレーム、音量バーのカラーの選択ができます。

4.4 入出力設定

タッチ軌跡の選択と音量設定ができます。

4.4.1 タッチ軌跡表示
タッチ軌跡のON/OFF選択をします。

4.4.2 音量設定
音量の設定とミュートの設定・解除ができます。

4.5 システム設定

本デバイスのシステムのリセットと更新ができます。

4.5.1 システムリセット
本デバイスのすべての情報を出荷時状態に戻します。
出荷時状態に戻る情報

- 設定ダイアログで設定できる項目
- すべての通信の接続の解除
- ウィジェットの位置
- 子画面表示の位置
- Wi-Fiネットワーク、デバイスリスト、Bluetooth®の保存情報

4.5.2 システム更新
本デバイスのシステムの確認およびシステムの更新ができます。
接続処理中、バッテリー残量が少ない場合(30%以下)は更新できません。

- Wi-Fi接続ができていることを確認します。
システム更新を行うには、Wi-Fi接続が必要です。Wi-Fi接続をする場合は「ネットワーク変更」をタップして行います。
- 「システム更新」をタップします。
- 新しいバージョンがある場合は「OK」で、ダウンロード・インストールが実行します。
- システム再起動の表示が出たら「OK」で、システムを更新します。
- 新しいバージョンになったことを確認します。

05 故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合の原因と対処方法を説明します。

⊗ 電源が入らない

- ? バッテリー残量が不足していませんか?
↳ 充電を行い、電源を入れ直してください。

⊗ 充電ができない

- ? 接続が外れていませんか?
↳ 電源アダプター、電源ケーブル、本デバイスの各接続を確認してください。
- ? 端子が破損していませんか?
↳ 電源アダプター、電源ケーブル、本デバイスが使用中に破損した場合は、補償の対象外になります。
- ? 適正な周囲温度で充電が行われていますか?
↳ 適正な条件下で充電をしてください。

⊗ 接続デバイスが接続できない

- ? Wi-FiがONになっていますか?
↳ Wi-FiをONにしてください。
- ? 接続デバイスにMiracast機能がありますか?
↳ 接続デバイスの説明書を確認してください。
- ? アプリをダウンロードしましたか?
↳ Miracastに対応していない接続デバイスの場合は、それぞれのストアからダウンロードをしてください。

⊗ 本デバイスが熱い

- ? 本デバイスが動作をする際に発熱をしていますか?
↳ 動作を終了し、時間をおいてください。しばらくして、通常の温度に戻ったら再度電源を入れてください。
- ? 充電をしながら操作を行っていませんか?
↳ 動作を終了し、充電を優先してください。充電が完了したら再度電源を入れてください。

⊗ 音が出ない

- ? 接続している接続デバイスから音声が入力されていますか?
↳ 接続している接続デバイスの音声出力先が本デバイスになっているか確認してください。
- ? 本デバイスの音量がミュートになっていませんか?
↳ AVバーで音声ミュートを解除してください。
- ? ネットワークの電波状況が悪くなっていませんか?
↳ ネットワークの状態を確認してから再度接続してください。

⊗ 音量が小さい

- ? 接続している接続デバイスの音量設定が小さくなっていませんか?
↳ 接続している接続デバイスの音量設定を調整してください。
- ? 本デバイスの音量が小さく設定されていませんか?
↳ 音量の調節をしてください。

⊗ 音声にノイズが発生する

- ? 初めから音声にノイズが含まれていませんか?
↳ 接続している接続デバイスで音声を確認してください。

⊗ タッチバック操作ができない

- ? 指がぬれていませんか?
↳ 手を拭いて使用してください。

06 その他

6.1 保証とアフターサービス

使い方、お手入れなどは、本マニュアルでお調べいただくか、「お問い合わせ先」にご連絡ください。

保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも無償交換に応じられない場合がありますので、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間です。
保証期間内に自然故障した場合は、保証規定に従って無償交換します。

アフターサービス

ご不明な点は「お問い合わせ先」にご連絡ください。

お問い合わせ先

belfida_one_cs@movetech.co.jp

6.2 主な仕様

ディスプレイ	画面サイズ: 10.36インチ 解像度: 2000×1200 アスペクト比: 15:9 その他: タッチパネル対応
主な入出力	電源端子 (DC 5V 3A)
主な付属品	電源アダプター、電源ケーブル
無線通信	IEEE802.11ax
Bluetooth	Bluetooth 5.2
HDCP	HDCP2.3
バッテリー	3,600mAh 使用時間: 約2時間 充電時間: 約3時間
スピーカー	内蔵ステレオタイプ 1.0W
外形寸法	W×D×H: 約146×7.2×244mm
質量	約380g

6.3 商標について

本マニュアルに記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Belfida ONEは、株式会社Moveの商標または登録商標です。

Belfida ONE

- SSE (Smart Streaming Engine)は、株式会社teamSの商標または登録商標です。



- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、moveはライセンスに基づいて使用しています。



- Androidは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

- その他、本マニュアルで登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

- なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。

- 本マニュアルに明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。